

供用済路線の狭あい空間で軽量盛土施工

EDO-EPS 工法

名古屋環状2号線

愛知県名古屋市の「名古屋環状2号線」は並行する2路線「名古屋第二環状自動車道（以下「C2」）」と「国道302号（以下「302号」）」からなる名古屋都市圏の幹線道路です。1971年の事業化から実に50年を経て2021年に全線が開通となりました。引き続きさらなる利便向上に向け暫定2車線の302号の4車線化工事が行われており、クロスする名古屋鉄道との踏切の廃止なども含めた交通のスムーズ化が推し進められています。（出典元：愛知国道事務所資料より）



名古屋環状2号線は、全線にわたってC2と302号が並行して建設されていますが、高架道路を設け二層化するなどで用地を抑えた計画になっています。環状路線の東側区間にお

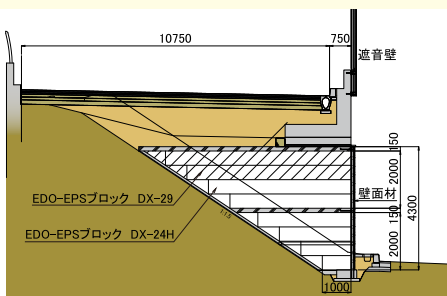
いてはC2が半地下にあり302号の上下線が地上両脇にオーバーラップする配置が多く見られます。

区全体として経済性に優れた工事となっています。



この半地下式区間の一部にあたる本現場において、既に供用されているC2や側道など周囲の交通に影響が及ばないように配慮しつつ増設車線を施工できる工法として選定されたのが、岡三リビック提供の超軽量盛土EDO-EPS工法です。

定形の軽量ブロックを配置していく作業が主体のためスピーディに施工でき、道路の設計としても直接基礎で済むため、工



工事概要

発注者：国土交通省愛知国道事務所
 工事名：令和5年度 302号守山区区
 東部道路建設工事
 施工会社：太啓建設株式会社
 商品名：EDO-EPS工法 1,041m³

お国自慢

森林セラピー基地
 北海道支店 仁義空

私が生まれ育った北海道北東部の人口約四千人の町「津別町」について紹介いたします。津別町は森林が町の面積の八六%を占めており、約三億本の木が生息しているそうです。

この町のお勧めは日本最北端の森林セラピー基地「ノンの森」。森林セラピーとは、森の癒しの力を活用して心身をリフレッシュすることです。ノンの森のエゾマツやトドマツ、ミズナラやダケカンバなど北海道らしい針葉樹と広葉樹の織り交じる自然の中で、ストレスを軽減しリラックした時間を楽しむことができます。

ノンはアイヌ語で「花」を意味し、その名の通り春から秋にかけて多種多様の花が咲きます。六月中旬から七月上旬にかけては三十万株のクリンソウが盛り一面をピンク色に染めます。また天然記念物のクマガイアザミを始め、野鳥やリスやクロテンなど野生動物も多種多様です。散策路や観察スポットも整備され、北海道の自然を思う存分に味わえます。

ノンの森の近くにある標高九四七メートルの津別峠もお勧めです。ここからは日本最大のカルデラ湖・屈斜路湖を一望することができ、晴れた日には湖を覆う雲海と朝日が織りなす幻想的な風景を楽しむことができます。

岡三リビック商品群

道路・盛土 多数アンカー式補強土壁工法 トリグリッドEX パラリンク フラットパネル RRR工法 EDO-EPS工法
 ダイブラハウエル管 法面・防災 多機能フィルター ミニアンカーDO PDR工法 サビレス100
 維持・管理 ARISライナー工法 SWライナー工法 RCGインナーシリカ Tnp工法 ローマットHDB
 鉄鋼建材 ライナープレート コルゲートパイプ 景観・環境 ロッキーステージ 斜面いどり工法 フォトリックアート

用地の厳しいランフ整備を推進

多数アンカー式
補強土壁工法

滋賀：国道1号バイパス

今年8月、滋賀県内の国道1号「栗東水口道路Ⅰ」と主要地方道「大津能登川長浜線（馬場・上砥山工区）」が開通しました。2道路の北側には国道1号本道が並行しており朝夕を中心に走行速度低下や渋滞が慢性的に発生していましたが、その交通環境改善が期待されています。

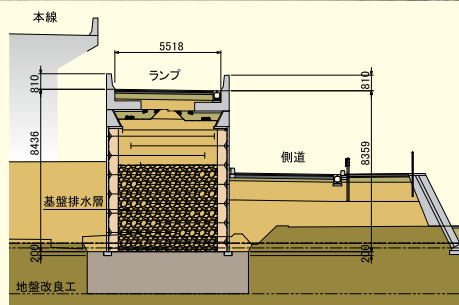
県道大津能登川長浜線は、琵琶湖の南岸に位置する瀬田唐橋（大津市）から長浜駅（長浜市）までを結んでおり、今回延長3.0kmの工事が完了し東端で栗東水口道路とも接続して計画区間が全通。滋賀県南部地域バイパス路としての機能を発揮。なお、両道とも計画4車線道路の暫定2車線開通となっています。

この県道整備区間において、ランフ部の盛土として使用されているの



が「多数アンカー式補強土壁工法」。地盤改良の規模を抑えることができる垂直壁であること、また類似他工法に比して補強材長を短くできることなどがその選定理由でした。

多数アンカー式補強土壁工法は岩石材料から砂質土まで様々な土質で安定した盛土を形成するなど多くの利点と高い経済性を持つ国産補強土壁工法。レベル2地震動に対する耐震性が織り込まれ、既往の大地震動の作用に対してもその安定性の高さが報告されています。



工事概要

施主：滋賀県南部土木事務所
工事名：大津能登川長浜線補助道路整備工事
施工会社：西村建設株式会社
商品名：多数アンカー式補強土壁工法 202m²



それだけでも驚きだが、各棟それぞれに多数の放水銃の銃座が置かれ延焼に備えたり、十三・十四号棟はまるごと備蓄倉庫であったり等々、ダンチで防災に本気なのだ（団地だけに）。公園に立つミニメントが火消し纏モチーフ

な防火壁として想定されているのだ。また建物と隅田川に挟まれる形で広大な空地（公園）も備わっており、八万人が一時避難できるキャパシティがあるという。つまり建物自体が巨大な防火壁として想定されているのだ。

そうした思想の究極形ともいえる場所が、墨田区内に一九八二年に完成した「都営白髭東アパート」だ。高さ四十階（十三階建て）で統一された十八棟の建物群で構成されるここは、隅田川沿い南北一・ニキロにわたって数珠つなぎのように棟が連なり、まるで「進撃の巨人」の城壁のようなスケールでそびえ立つ。

これを受け東京では以後、小学校が鉄筋コンクリートに建て替えられたり、広い道路や公園を多く設け延焼を避けたりなど、様々な防災策が段階的に押し進められた。

防災団地の本気

徒然月記

記：編集T

